

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神明町 新築計画(工場棟)	階数	地上1F
建設地	横須賀市神明町58番9	構造	S造
用途地域	市街化区域、工業地域	平均居住人員	10人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,086時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年7月7日
敷地面積	9,356 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)横浜支社建築一級建築士事務所
建築面積	6,103 m ²	確認日	2021年7月29日
延床面積	5,990 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)横浜支社建築一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.4

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
京急久里浜駅周辺の工業地域に、工場単一用途のS造・1Fの工場棟を計画した。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
0	階高にゆとりを持たせるなど、特に対応性・更新性に配慮した。	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm=0.71, LED照明設備を導入している。	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LCCO ₂ 排出率=86%とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される